

予 算 要 求 資 料

令和5年度当初予算

支出科目 款：総務費 項：企画開発費 目：国際化推進費

事業名 地域資源を活用したリトアニアとの交流促進事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

商工労働部 観光国際局 国際交流課 国際連携係 電話番号：058-272-1111(内3971)

E-mail：c11345@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 24,008 千円 (前年度予算額： 24,041 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	24,041	0	0	0	0	0	0	0	24,041
要求額	24,008	0	0	0	0	0	0	0	24,008
決定額									

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨(現状と課題)

リトアニアは、第二次世界大戦下、県出身の元外交官杉原千畝氏が「命のビザ」を発給した英断の地であり、県は同氏を縁として交流を進めている。

2018年からは、県とリトアニアとの交流促進を目的として、県内各所でリトアニアの魅力を紹介するイベント「リトアニアNOW」を5年連続で開催している。

2022年には、コロナ禍の中であるものの、国内在住のリトアニアゆかりの音楽家によるコンサートや、前駐リトアニア特命全権大使による講演会をはじめオンライン同時配信の形でリトアニアNOW2022を開催する等、ウィズコロナの交流事業を実施した。

2023年は、コロナに係る渡航規制が解除され直接の人的交流が可能となることを見据え、県とリトアニアの交流のさらなる深化を図るための取組みを展開するとともに、両者をつなぐ杉原千畝氏の功績や人道の精神を、次世代に受け継いでいくための取組みを進めていく。

(2) 事業内容

○リトアニアNOW2023の開催

- ・県内各所でリトアニアを紹介するイベント(リトアニア文化団体による公演など)を開催するとともに、県内国際交流イベント等においてリトアニアの魅力や、県とリトアニアの交流に関するPRを行う。

○nowJapan・天皇誕生日レセプションへの出展

- ・リトアニアで開催される日本の文化等PRイベント「nowJapan」や天皇誕生日レセプションなどのイベントに参加し、県のPRを行う。

(3) 県負担・補助率の考え方

県とリトアニアの交流促進を図るとともに、県出身の偉人の功績等について、県として主体的に発信・顕彰する取組みであり、県負担は妥当。

(4) 類似事業の有無
なし

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
旅費	2,082	リトアニア・関係機関への旅費
対外交流費	600	リトアニア要人等との懇談
需用費	440	展示品、土産代等
役務費	610	通訳費、通信費、資材運搬費等
印刷製本費	305	広報ツールの印刷
委託料	19,596	リトアニア関係イベントの運営委託等
使用料	375	リトアニアでのイベント出展等
合計	24,008	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

「岐阜県国際交流戦略」に基づき、交流促進を図る様々な取組みを実施。

(2) 国・他県の状況

他府県においても同様の国際交流事業、偉人の顕彰事業を実施している。

(3) 後年度の財政負担

次年度以降も継続して県が負担する。

(4) 事業主体及びその妥当性

県とリトアニアの交流促進を図るとともに、県出身の偉人の功績等について、県として主体的に発信・顕彰する取組みであり、県負担は妥当。

事業評価調書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

県出身の偉人杉原千畝氏を縁に、県とリトアニアの交流をさらに促進することにより、両者間の県民・国民レベルでの相互理解を深め、今後の永続的な友好関係の構築を図るとともに、県の知名度向上、誘客促進を図る。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R3年度 実績	R4年度 目標	R5年度 目標	終期目標 (R7)	達成率
①外国人延べ宿泊客数	/	3万人	70万人	100万人	180万人	1.7%

○指標を設定することができない場合の理由

（これまでの取組内容と成果）

令和2年度	<p>杉原千畝生誕120年・命のビザ発給80年を記念して、「リトアニアNOW」を3年連続で開催し、杉原千畝の人道精神・人間愛を描いた舞台「センポ・スギハアラ」の公演や、関連企画展示、リトアニア物産フェア、リトアニア勉強会などを実施。多くの県民が、杉原千畝の偉業を顕彰するとともに、リトアニアの文化や歴史等に親しんだ。</p> <p>様々な分野のイベントを開催することで、県とリトアニアの相互理解を深める機会を創出するなど、リトアニアとの友好関係の発展に寄与した。また、関連の動きとして、経済交流や学术交流を始めとする多層的な交流も活発化しつつあり、今後もさらなる発展が期待できる。</p>
令和3年度	<p>県内各所でリトアニアを紹介するイベント「リトアニアNOW」を4年連続で開催し、リトアニア人ソプラノ歌手による公演、杉原千畝関連映画の上映会、関連企画展示、リトアニア物産フェア、リトアニア勉強会などを実施。多くの県民が、杉原千畝の偉業を顕彰するとともに、リトアニアの文化や歴史等に親しんだ。</p> <p>オンラインを活用し、リトアニア向けの岐阜県PRを実施した。</p> <p>「リトアニアNOW」の開催やオンラインを活用したリトアニア向け岐阜県PRを通じて、県とリトアニアの相互理解を深める機会を創出するなど、リトアニアとの友好関係の発展に寄与した。また、関連の動きとして、経済交流や学术交流を始めとする多層的な交流も活発化しつつあり、今後もさらなる発展が期待できる。</p> <p>指標① 目標：50万人 実績：3万人 達成率：6.0%</p>
令和4年度	<p style="color: red;">令和6年度当初予算にて追加</p> <p>指標① 目標：____ 実績：____ 達成率：____ %</p>

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<p>・ 事業の必要性 (社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) <small>3 : 増加している 2 : 横ばい 1 : 減少している 0 : ほとんどない</small></p>	
(評価) 3	<p>杉原千畝氏の出身地である県が主体となってリトアニアと県の相互理解を深める取組みを進めることは、両者間のさらなる友好交流の発展、杉原氏の功績と人道精神の次世代への継承に繋がるため、県関与は妥当。</p>
<p>・ 事業の有効性 (指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) <small>3 : 期待以上の成果あり 2 : 期待どおりの成果あり 1 : 期待どおりの成果が得られていない 0 : ほとんど成果が得られていない</small></p>	
(評価) 3	<p>「リトアニアNOW2022」では、前駐リトアニア日本大使や駐日リトアニア大使が参加し、岐阜県国際交流員が司会としてイベントに参加したほか、日本在住のリトアニアゆかりの方によるコンサートを実施するなど、コロナ禍においても可能な方法で交流を推進し、岐阜・リトアニアの交流の深化を実現している。</p>
<p>・ 事業の効率性 (事業の実施方法の効率化は図られているか) <small>2 : 上がっている 1 : 横ばい 0 : 下がっている</small></p>	
(評価) 2	<p>事業の実施に当たっては、少人数で効率的に企画・調整・運営を行うとともに、海外の相手方との役割・費用の分担や、業務の委託を適切に行い、必要な作業のみを行っている。</p>

(今後の課題)

<p>・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項 県とリトアニア間において、互いの認知度の更なる向上のため、両国において杉原千畝氏を縁とした相互理解を効果的に深める機会を増やすとともに、民間団体や県民を巻き込み、官民一体となった交流等を促進させていく必要がある。</p>
--

(次年度の方向性)

<p>・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 海外との交流・偉人の顕彰については継続的な取組みが重要であり、実施状況を踏まえ、効果的な事業内容・手法を検討していく。</p>
--

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

<p>組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課 組み合わせる理由 や期待する効果 など</p>	<p>【〇〇課】</p>
---	--------------